**令和５年度大阪府がん対策推進委員会**

参考資料１④

**肝炎肝がん対策部会（概要）**

１.　日　時　　令和５年７月２１日（金）午後６時３０分～７時３０分

２.　場　所　　大阪国際がんセンター　１階　小会議室３

３.　議　事

（１）第３期大阪府がん対策推進計画の最終評価について

（２）第４期大阪府がん対策推進計画について

（３）その他

４.　委員からの意見要旨と審議結果

（１）第３期大阪府がん対策推進計画の最終評価について【資料１】

【意見要旨】

〇肝炎ウイルス検査累積受診者数について、令和３年度末で約88万人であり、年約6万人受診していることから、令和５年度末で約100万人となる見込み。目標値約109万人に足りないが、ベースライン約55万人に比べて改善していることからB評価は適当である。

〇肝炎ウイルス検査精密検査受診率について、令和３年度末で54.3％であり、ベースラインに比べて9.9％改善しているが目標値80％からは大きく離れている。B評価でよいのか。

【審議結果】

第３期大阪府がん対策推進計画の最終評価報告書（案）を承認。

（２）第４期大阪府がん対策推進計画について【資料２】

【意見要旨】

〇第3章（現状と課題）及び第5章（取組と目標）について、「予防、受検、受診、受療」の流れで整理された分かりやすい表現である。

〇肝炎ウイルス検査累積受検者数の目標値はどのように設定したか。

⇒第3期目標値約109万人を据え置きすると計画途中で目標達成することが予測さ

れることから、第3期最終年度の到達見込数100万人に、平均受検者数約6万人に

6か年を乗じた36万人を加えた約140万人を、第4期計画の目標値とした。

〇肝炎ウイルス検査精密検査受診率の目標値はどのように設定したか。

⇒令和３年度末で54.3％とまだまだ目標に届いていないことから、第3期目標値80％

を据え置きとした。

〇肝炎ウイルス検査精密検査受診率の推移について、年度によって受診率にバラつきがある理由はなにか。

⇒精密検査受診率は単年度集計であり、母数（肝炎ウイルス検査陽性者）が少ない

ため、受診率が変動しやすいと考える。毎年度、受診率80％を維持できるよう努める。

〇目標値140万人が受検したとして、府民の何％が受検したことになるか。

⇒府民880万人とした場合、受検者88万人で10.0％、受検者140万人で15.9％

の府民が受検したことになる。

〇年代によって陽性率が異なることから、特に陽性率の高い60歳代～70歳代への受検勧奨を重点的に取り組んでほしい。また、消化器内科以外の診療科で判明した肝炎ウイルス検査陽性者へのフォローアップに取り組んでほしい。

【審議結果】

第４期大阪府がん対策推進計画（案）を承認。

（３）その他

大阪府肝炎専門医療機関及び肝炎協力医療機関の指定等について【資料３】

【審議結果】

新たに肝炎専門医療機関の申請があった１施設を承認。